

令和元年度 第3回岐阜市障害者総合支援協議会全体会 議事要旨

令和2年2月25日(火)

15:30~17:00

岐阜市役所3階大会議室

1. 令和元年度岐阜市障害者総合支援協議会専門部会等(下半期)の実施報告について  
以下の資料に沿って報告。

資料2-1「令和元年度岐阜市障害者総合支援協議会(専門部会)実施報告」

資料2-2「令和元年度分野別連携ネットワーク」

- (1) 第5回居住支援について(R1.10.21開催)
- (2) 第6回精神障がい者の退院後支援体制について(R1.11.28開催)
- (3) 第7回障がい者虐待について(R1.12.26開催)
- (4) 第8回【研修】障がい者虐待防止研修(事業所職員向け)(R2.1.16開催)
- (5) 第9回障害児通所支援と学校との連携について(R2.2.18開催)
- (6) 令和元年度分野別連携ネットワーク
- (7) 事業所説明会

【活動報告についての意見等】

- (1) 第5回居住支援について(R1.10.21開催)
  - ・岐阜市にも居住支援法人ができ、今回の研修もきっかけづくりとして有意義だった。福祉分野には、不動産等に関する情報がまだまだ浸透しておらず、今後も入居してからの生活支援にも関心を向けて進めていってほしい。
  - ・新しい取り組みのため、居住支援法人だけでなく相談支援専門員等も含めて当事者をサポートする体制づくりを一緒に考えていくきっかけとなっていた。
- (2) 第6回精神障がい者の退院後支援体制について(R1.11.28開催)
  - ・支援者側も、精神障がいがある人の就労支援等において難しさを感じている。医療をはじめ、多くの分野と連携しながら支援体制を作る必要を感じた。
- (3) 第7回障がい者虐待について(R1.12.26開催)
  - ・地域においては虐待の判断に迷うことも多いが、行政をはじめとする関係機関と連携しながら対処していくことが必要。
- (4) 第8回【研修】障がい者虐待防止研修(事業所職員向け)(R2.1.16開催)
  - ・各事業所職員が積極的な意見交流を通じて、虐待について改めて自らの支援を見つめ直す良い機会となっていた。
- (5) 第9回障害児通所支援と学校との連携について(R2.2.18開催)

- ・今回は特別支援コーディネーター研修の一環として開催されたが、管理職研修など、これからも毎年継続して学校との連携が取れるようにしていけると良い。

(6) 令和元年度分野別連携ネットワーク

【介護保険】

- ・障がいのある方が介護保険に移行する際、相談支援専門員と連携する必要がある。こうした機会を継続して行っていくことで、スムーズな連携が取れるようになると期待している。

【共同生活援助】

- ・相談支援専門員にとってもグループホームの取り組みを知ることができて良かった。また、将来的に一人暮らしを考えるうえで地域のことを知る相談支援専門員との連携も必要になってくるため、このような機会を継続できると良い

【医療】

- ・医療側の敷居が高いという話があったが、医療側も障がいのことを深く知っているわけではない。こうした機会でお互いの分野について知り、連携を深めていければ良い。

(7) 事業所説明会

- ・岐阜特別支援学校での事業所説明会は浸透してきている。対象者を岐阜市在住の障がいのある方やその家族に拡大したハートフルスクエアGでの就労支援事業所説明会については、一般就労した後、就労を継続できなかった障がい者等へ広くアプローチできる。今後も継続して開催できると良い。

- ・働きたい障がいのある方に対して、就労支援機関の紹介を行ったり、リーフレット等による周知を行っていく。

2. 来年度総合支援協議会のテーマについて

- ・障がいがある子が成長し、親が高齢になると、面倒を見切れなくなってしまう問題があり、様々な意見を聞きたい。

- ・高齢の聴覚障がい者が施設に入所するために県外にいかなければならない。聴覚障がい者が、住み慣れた場所で安心して生活できる環境を整えられるように働きかけを行っていけると良い。

- ・多くの制度やサービスがある現在、本人の意思決定支援が注目されている。本人が望むことを選択できるような支援が必要とされている。